



厚生労働省
群馬労働局発表
平成26年8月21日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 寺村 裕司
主任産業安全専門官 長谷川 隆雄
(電話) 027-210-5004

建設業労働災害防止総決起大会を開催

—増加している建設災害にストップをかけるために、県内で初めて—

厚生労働省群馬労働局（局長：内田 昭宏）は、特に建設業において労働災害が大きく増加している現状（*）に鑑み、これにストップをかけるため、建設業労働災害防止協会群馬県支部と群馬県建設業協会（支部長兼協会長：青柳 剛）との共催により、8月27日（水）に「建設業労働災害防止総決起大会」を次のとおり開催します（取材自由）。

- 日 時 平成26年8月27日（水）午後1時30分から
- 場 所 群馬建設会館大ホール（前橋市元総社町2-5-3）

群馬労働局及び災害防止団体の建設業労働災害防止協会群馬県支部に加え、業界団体である群馬県建設業協会も参画する形での、こうした全県的な総決起大会は、群馬県下では初めての取組です。

大会では、建設業の災害事例とその防止対策を具体的に説明する安全講話や建設現場の無災害を目指す大会宣言を行い、建設業界における安全意識の高揚と自主的な労働災害防止活動の促進を図ります。

大会の開催要領及び次第は別紙1のとおりです。

（*）県内の建設業における労働災害の発生状況は、別紙2のとおりです。

建設業労働災害防止総決起大会 開催要領

1 目的

群馬県内の建設業における労働災害は、平成 24 年・平成 25 年と 2 年連続増加し、平成 26 年 6 月現在では、昨年を上回る死亡災害が発生し、憂慮すべき状況である。この事態を受け 9 月に建設業労働災害防止推進月間を迎えるに当たり、会員各位に対し、なお一層の労働災害防止対策に努めることを目的に総決起大会を開催する。

2 主催

建設業労働災害防止協会群馬県支部 / 一般社団法人群馬県建設業協会
厚生労働省群馬労働局 / 厚生労働省群馬労働局各労働基準監督署

3 日時・場所

平成 26 年 8 月 27 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
群馬建設会館 大ホール (前橋市元総社町 2-5-3 電話 027-252-1666)

4 参加者・規模

建設事業主、関係団体、関係行政機関 等 450 名

5 次第

1)開会

2)黙祷

3)主催者挨拶

建設業労働災害防止協会群馬県支部長/一般社団法人群馬県建設業協会長
厚生労働省群馬労働局長

4)来賓挨拶(予定)

群馬県知事
国土交通省関東地方整備局

5)来賓紹介(予定)

群馬県：契約検査課長、森林保全課長、農村整備課長、企業局総務課長
国土交通省関東地方整備局：高崎河川国道事務所長、利根川水系砂防事務所長、八ッ場ダム工事事務所長、利根川ダム統合管理事務所長、渡良瀬川河川事務所長、品木ダム水質管理所長
農林水産省関東森林管理局：治山課長、森林整備課長

6)安全講話

厚生労働省群馬労働局健康安全課長

7)環境すみずみパトロール隊

パトロール隊代表による決意表明

8)大会宣言決議

大会宣言 一般社団法人群馬県建設業協会

9)閉会 (労働災害撲滅を誓うぐんケンくん紹介)

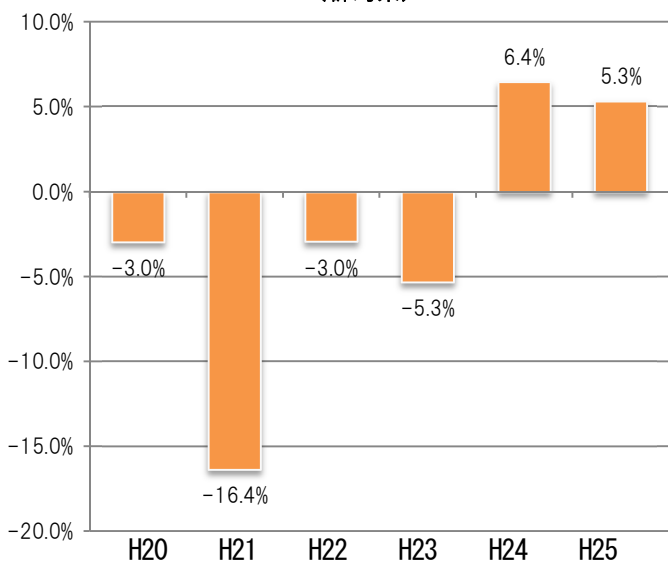
平成26年上半期(1月～6月)における休業4日以上の死傷者数

○ 県内の建設業における平成26年上半期(1月～6月)の労働災害による休業4日以上の死傷者数(以下、「死傷者数」という。)は、下表のとおり128人で前年同期比24.3%の増加であり、全国平均の増加率4.0%より高くなっています。

業種	死傷者数	前年同期比増減数	増減率(%)	全産業に占める割合(%)
①製造業	321	33	11.5	31.3
				(製造業に占める割合)
食料品製造業	82	-3	-3.5	(25.5)
金属製品製造業	58	5	9.4	(18.1)
輸送用機械器具製造業	42	6	16.7	(13.1)
②交通運輸・貨物取扱業	150	11	7.9	14.6
道路貨物運送業	125	9	7.8	12.2
③建設業	128	25	24.3	12.5
建築工事業	77	14	22.2	7.5
土木工事業	28	8	40.0	2.7
その他の建設業	23	3	15.0	2.2
④卸売・小売業	118	35	42.2	11.5
小売業	100	26	35.1	9.8
全産業計	1024	140	15.8	100.0

○ 県内の建設業における死傷者数は、下図のとおり平成24年、平成25年の2年連続で増加しています。

建設業における前年との増減率の年別推移 (群馬県)



建設業における労働災害死傷者数の推移

